

(1) 会議の名称	大田区自立支援協議会 第5回防災部会				
(2) 開催日時	平成29年12月18日(月) 10:00 ~ 12:00				
(3) 開催場所	さぼーとぴあ 多目的室				
(4) 出席した委員、事務局等	委員 (部会長：志村 陽子)				<敬称略>
	田邊 俊子	竹内 千代江	岡戸 繁樹	栗田 修平	蛭子 明子
	在原 寛子	富丘 浩之	広瀬 健次郎	篠崎 哲也	
	オブザーバー：八尾 隆一（蒲田警察署）、 中村 幸二（田園調布消防署）、 寺田 秀明・藤浦 宗寿（蒲田消防署）				
	区職員：長沼 宏幸（災害時医療担当課長）、 阿部 幸喜（防災危機管理課）、 高野 耕治（上池台障害者福祉会館長）、 吉田 実（障害福祉課）、 小泉 洋子（障がい者総合サポートセンター）				
事務局：平野 理恵子・関根 あずさ（障害福祉課）					
1 確認・連絡事項					
(1) 出欠者の確認					
(2) 配付資料の確認					
(3) 書記の確認 → 岡戸委員（都立矢口特別支援学校）					
(4) 第2回本会(10/27)及び第3回運営会議(11/29)の実施報告					
<ul style="list-style-type: none"> ・今後の本会、専門部会の進め方について確認した。事前配布資料の説明は省略して協議の時間をとるように調整していく。 ・専門部会については、委員の発言時間が確保できるようにしていく。 ・白井会長から「具体的な取組を意識して部会活動も変化があったと感じた。」とあり、防災部会はヘルプカードの見直しなどに取り組めた。 					
2 議題					
(1) 前期の振り返り					
ア ヘルプカード					
<ul style="list-style-type: none"> ・項目を○印で選択できる方が記入もれ防止になってよい。 ・選択項目を設定したことで、福祉避難所の受付がスムーズになる。食物アレルギーの事故防止にもつながる。 ・支援情報を受ける側、発信する側のすり合わせができてよかった。 ・これが完成形ではなく見直していくことが大切である。 ・1枚ですべてが分かることが大切。二次災害を防げる。ストレスを減らすことにもつながる。余白にもメモできてよい。 ・ヘルプカードは福祉避難所の名簿作成の際に役立つ。 ・ヘルプカードが普及してきたと思う。様式を改善したことは大きな成果であると感じた。 					

- ・使いやすくなってよい。どのように周知していくかを考えていく。
- ・各施設の利用者がヘルプカードをどのくらい使用しているか調べたい。行方不明の際にこれをつけていて見つかったということも聞いているのでも入園の際に確認されることが望ましい。
- ・消防署の意見も取り入れ、よいものができたと思う。

イ 公開学習会の開催

- ・災害への備えについて、今後も部会として学習会など情報発信していきたい。

ウ 大田区総合防災訓練への参加

- ・部会としてブースを出し、ヘルプカードの啓発を行った。
- ・車いすの体験ブースへの助言を行った。体験者からは「怖いと感じた」という意見があった。不安にさせずに移動できるよう検討していく。
- ・チラシ配布だけでなく、地域の方と交流できるようブースの出し方の工夫が必要。

(2) 福祉避難所開設準備訓練について

ア 担当者より

- ・7月に都立矢口特別支援学校の訓練を参観し、参考にして計画を立てた。
- ・5つの班に分かれて職員を配置。各リーダーをつけて、指揮系統がとれるようにする。
- ・どこに何があるか防災物品のチェックをしていく。
- ・人の配置についても予定していた人がいないことがあるので、当日の指揮系統が課題となる。
- ・当日の防災部会は訓練終了後に行う。
- ・できることと、できないことを見分けたい。

イ 委員より

- ・本当に災害が起こったときに近い想定にしてほしい。例えば、エレベーターが止まって使用できない場合やトイレの水が使用できずビニールを敷いて凝固剤を使用する場合の想定など。
- ・矢口特別支援学校の福祉避難所開設準備訓練について、班ごとにスターターキットがある。各班の簡単なマニュアルもあるため、初めて担当する人でも取り組みやすいようにしてある。班員はビブスの色分けで分かるようにしてある。大型トイレの設置や水の運搬など、力仕事は時間がかかりやすい。本部との連絡は無線で行ったが混戦することもあった。無線使用時のルールも必要である。寒い時期の実施であれば暖対策も必要となる。
- ・ねらいにある関係機関は、消防、町内会、防災部会などとなるが、隣接する日赤との連携もできるとよい。
- ・一次避難所の後に福祉避難所があることを周知していく。

3 委員及び各関係機関からの情報提供

(1) 篠崎委員（みんなの家）から「情報発信共有シート」の報告

・防災に関する取組

フードバンクから備蓄用の食材をいただいている。賞味期限が短いものが多数あるが、日々のおやつや食事の際に、その子・その人が食べることができるかのデータ

を取ることができており、「食事だけの非常時訓練」を頻繁に行っている。

・防災部会で取り組んでみたいこと

各事業所等で策定した防災計画等が実際に機能するか、不備がないかを部会で検討し、その結果を公開も含め広く共有してほしい。

(2) その他

ア おおたT S ネット

福祉と司法が学び合う場を共有し、地域での支援を育む。

イ 防災危機管理課

- ・1/15～1/21 防災とボランティア週間フェア
- ・1/20 要配慮者の支援を考える講習会
- ・要配慮者を支援する体制づくりを進めている。

※次回以降の日程

第6回作業部会	1月11日(木)	10:00～12:00	さぼーとぴあ5階	多目的室
第6回部会	1月18日(木)	10:00～12:00	さぼーとぴあ5階	多目的室
第7回作業部会	2月7日(水)	10:00～12:00	さぼーとぴあ3階	集会室
第7回部会(訓練)	2月14日(水)	10:00～12:00	さぼーとぴあ3階	集会室